環境省地球環境研究総合推進費 Hc-084 (2008-2010 年度) 都市・農村の地域連携を基礎とした低炭素社会のエコデザイン 2 日連続 公開シンポジウム

## 都市・農村連携の展開可能性

2010年1月27日 | 水 | 13:00~17:30 (受付 12:00~)

定員:60名(事前申し込み受付)/参加費:無料/言語:日本語

基調講演: 岡澤 和好 氏 (東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 研究員)

倉阪 秀史 氏(千葉大学法経学部総合政策学科教授)

主催:環境省地球環境研究総合推進費 Hc-084

共催:大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)

立命館サステイナビリティ学研究センター (RCS)

北海道大学サスティナビリティ・ガバナンス・プロジェクト (SGP)

Urban-rural partnership: the appropriate bilateral flows and circulations of materials, energy, information, money, and people, which contributed to the following results: disparity adjustment and equitable distribution of wealth, "win-win" situations making full use of each characteristic, coexistence with mutually embedded structures; that is, urban functions in rural areas and rural functions in urban areas, and cooperative conservation of ecosystem services, primarily in rural areas.

























# 気候変動による水資源分野の適応策と国際連携 低炭素社会の構築と日中間国際連携

2010年1月28日 | 木 | 9:20~12:00 (受付 9:00~) / 13:00~18:00 (受付 12:00~)

定員:60名(事前申し込み受付)/参加費:無料/言語:日本語・中国語(日中同時通訳)

基調講演:張坤民氏(清華大学教授) 朱軍氏(浙江大学副学長)

主催:環境省地球環境研究総合推進費 Hc-084

共催:ウォーター・セキュリティ・プロジェクト (文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B)

立命館サステイナビリティ学研究センター (RCS) 立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO) 大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS) 北海道大学サスティナビリティ・ガバナンス・プロジェクト (SGP)

### お問い合わせ・お申し込み

お申し込みは、下記の連絡先まで[ご氏名/ご所属/PCメールアドレス/1日目・2日目・両日参加]をお知らせください。

シンポジウム立命館大学事務局

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学 政策科学部 仲上健一研究室

Tel: 075-466-3203

E-mail: hc-084@st.ritsumei.ac.jp

#### 会場:立命館 朱雀キャンパス 1 階 多目的室

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

JR・地下鉄東西線 二条駅 徒歩 2 分 阪急電車 大宮駅 徒歩 10 分 京都市バス・JR バス 千本三条・朱雀立命館前 下車すぐ 公共交通機関でお越しください。

自転車・バイク・車での来場はご遠慮ください。 ※駐輪場・駐車場はございません。



2010年1月 午後「都市・農村連携の展開可能性」 27 日 |水| 13:00~13:10 開会あいさつ 研究代表者:梅田靖(大阪大学工学研究科教授)  $13:10 \sim 14:30$ 基調講演 「持続可能な資源利用と 3R」 岡澤 和好 (東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 研究員) 「エコロジカルな経済学からみた自然エネルギー基盤の経済社会の形成」 倉阪 秀史 (千葉大学法経学部総合政策学科教授)  $14:30 \sim 14:40$ 休憩(10分) 14:40 ~ 15:40 研究成果発表 サブテーマ 1 「低炭素化に向けた持続可能地域連携社会の枠組み、指標及びシナリオ」 梅田 靖 (大阪大学工学研究科教授) サブテーマ 2「農工連携による自然資本を活かした低炭素化産業の創出」 町村 尚(大阪大学工学研究科准教授) サブテーマ 3「都市-農村空間結合による低炭素化クラスター形成」 大崎 満 (北海道大学大学院農学研究科教授) サブテーマ 4「広域低炭素化社会実現のためのエネルギー・資源システムの改変と 政策的実証研究」 周 瑋生(立命館大学政策科学部教授)  $15:40 \sim 15:50$ 休憩(10分)  $15:50 \sim 17:20$ パネルディスカッション「都市・農村連携の展開可能性」 パネリスト: 岡澤 和好 (東京大学サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 研究員) 倉阪 秀史 (千葉大学法経学部総合政策学科教授)

蘇 印泉 (西北農林科技大学林学院教授) 梅田 靖 (大阪大学工学研究科教授) 町村 尚 (大阪大学工学研究科准教授) 大崎 満 (北海道大学大学院農学研究科教授) 周 瑋牛 (立命館大学政策科学部教授)

コーディネーター: 小林 昭雄 (大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構特任教授)

17:20 ~ 17:30 **閉会あいさつ** 研究代表者:梅田 靖(大阪大学工学研究科教授)

2010年1月

#### 午前 「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」

28 日 | 木 |

 09:20 ~ 09:30
 趣旨説明
 仲上 健一 (立命館大学政策科学部教授)

09:30~10:00 基調講演 「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」

張 坤民 (清華大学教授)

 $10:00\sim11:00$  個別報告 「中国における気候変動と水安全問題:

2006 年揚子江の渇水事情を事例として」

何 青 (華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任・教授)

「太湖流域水の汚染に当たる防止現状と進展」 陳 英旭(浙江大学環境保護研究所所長・教授)

「気候変動影響を考慮した発展途上国における水資源・水環境と人々の関わり」

福士 謙介 (東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授)

「琵琶湖の環境保全」

中島 淳(立命館大学理工学部教授)

11:00~11:05 休憩(5分)

 $11:05\sim12:00$  パネルディスカッション「気候変動による水資源環境分野の適応策と日中間連携の可能性」

パネリスト: 何青(華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任・教授)

陳 英旭 (浙江大学環境保護研究所所長・教授)

原 圭史郎 (大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構特任講師) 福士 謙介 (東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授)

中島淳(立命館大学理工学部教授)

コーディネーター: 仲上 健一(立命館大学政策科学部教授)

12:00~13:00 昼食休憩(60分)

#### 午後 「低炭素社会の構築と日中間国際連携」 -

13:00 ~ 13:10 **趣旨説明** 周 瑋生 (立命館大学政策科学部教授)

13:10~13:50 基調講演 「新農村建設、低炭素産業と日中連携の可能性―湖州モデルを事例に」

朱 軍 (浙江大学副学長)

13:50~14:20 個別報告 | 「中国における循環型社会構築の現状、展望と課題」

武 春友(大連理工大学エコデザインと発展研究所所長・教授)
「大連市における低炭素社会構築と持続可能な発展方略」

穆 海林 (大連理工大学エネルギー動力学院教授・エネルギー経済研究所所長)

14:20~14:30 休憩(10分)

14:30~15:15 個別報告 || 「低炭素社会構築に資する再生可能エネルギー政策に関する国際比較と提案」

竹濱 朝美(立命館大学産業社会学部教授)

「技術移転による低炭素バイオマス産業育成の実例と課題」

中澤 慶久(大阪大学工学研究科招聘准教授)

社会関係資本からのアプローチによる持続可能な圏域構築の試み」

加藤 久明 (立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員)

15:15~15:30 休憩(15分)

 $15:30 \sim 18:00$  パネルディスカッション「低炭素社会の構築と日中間国際連携」

パネリスト: 武春友 (大連理工大学エコデザインと発展研究所所長・教授)

「国際互恵概念とその理論化に向けて:

穆 海林(大連理工大学エネルギー動力学院教授・エネルギー経済研究所所長)

竹濱 朝美(立命館大学産業社会学部教授) 町村 尚(大阪大学工学研究科准教授)

加藤 久明 (立命館グローバル・イノベーション研究機構研究員) 佐藤 寿樹 (北海道大学サステイナビリティ学教育研究センター博士研究員)

コーディネーター: 周 瑋生(立命館大学政策科学部教授)